

## 町長選挙

# 半戸哲郎氏を支持します

6月に津南町長選挙が行われます。

5月1日半戸哲郎氏から日本共産党津南町委員会に「変えよう津南、半戸とつくる津南町（対話型町政で新しいまちづくり）」について説明がありました。

党町委員会は、自公政治に抗して「自立を選択し、津南病院を核にした医療・介護・福祉の推進、農業立町の精神にもとづく農林業、再生可能エネルギーを軸とした地域振興、日本国憲法の解釈・明文改憲に反対し、憲法をくらしに生かす町づくり」の重要性を述べ、左記の5つの基本政策で、お互いが合意し、政策協定を結びました。

町長選挙は、安倍内閣による消費税増税、年金・医療・介護など社会保障の切り捨て、原発再稼働、集団的自衛権容認の暴走政治の中でたたかわれる選挙です。

日本共産党は半戸哲郎氏を支持し、大きなご支援をよろしく願います。全力を尽くします。

## 津南町長選挙にあたっての政策協定

年金削減の一方で消費税増税、入院医療と介護保険サービスの削減、農業と地域経済、皆保険制度をこわすTPP、原発再稼働と原発輸出など、住民のくらしと地域経済の深刻な事態が加速されようとしています。

上村町政は、国保料を3年連続値上げし、要支援1・2を介護保険から外し、利用料を2割にする国の施策に理解を示す議会答弁です。津南病院は深刻な看護師不足ですが、新年度予算での新たな施策の展開はありません。原発を「重要なベースロード電源」を位置づける安倍内閣の「エネルギー基本計画」も容認する姿勢です。

津南町は、自公政治に抗して「自立」を選択し、津南病院を核にした医療と介護、福祉の推進、「農業立町」の精神にもとづく農林業、再生可能エネルギーを軸とした地域振興の大きな条件と可能性があります。町政の転換が、求められています。

半戸哲郎氏と日本共産党津南町委員会は、日本国憲法の解釈・明文改憲に反対し、憲法をくらしに生かす決意にたって、「町民が主役」の津南町づくりのために共同することで合意しました。

- 1、 地域と町民が持っている力・技・絆を生かし、農林業を基幹産業として発展させ、再生可能エネルギー先進地をめざし、地域内循環型で地域経済と雇用の活性化をはかる。都市との交流をすすめ、津南の魅力を観光資源として生かしていく。
- 2、 津南病院を核に、日本一の地域・予防医療、介護、福祉、保健活動をめざし、雇用の場を拡大する。年金、介護保険サービスの切り下げと負担増に反対し、削減された国保への国補助金の復元をもとめ、津南町の国保料値上げ計画を中止する。
- 3、 「子育てするなら津南町」「住み続けるなら津南町」をモットーに、子育て支援、雪対策を総合的に構築する。学校・保育園の統廃合計画は見切り発車せず、住民の中での徹底討論と合意づくりを最優先する。
- 4、 日本国憲法の解釈・明文改憲、「海外で戦争できる国づくり」に反対し、憲法を暮らしに生かし、平和・核兵器廃絶、清潔・公正、くらし最優先の町政を推進する。
- 5、 福島第一原発事故の検証、実効性ある避難計画なしの原発再稼働に反対し、「原発ゼロ」をめざす。「脱原発をめざす首長会議」に参加する。住民自治・団体自治をこわす道州制に反対し、地方自治の本旨にふさわしい地方財政と地方交付税の復元・充実をもとめる。

津南民報 5月号外  
発行 日本共産党津南町委員会  
連絡先 TEL 765-4304

日本共産党津南町委員会の政策をお知らせします

